

マニフェストの進捗状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き

- ・91項目のすべての政策に着手
- ・平成24年度末までの取組により、マニフェストの目標値等を達成するものは38項目(「進捗」の欄に◎印)
- ・平成25年度予算(案)等により、平成25年度中にマニフェストの目標値等を達成する見込みのものは10項目(「進捗」の欄に○印)
- ・平成25年度までの達成率は53%(達成目標のうち91項目中40項目は最終年度までに達成すべきもの)
- ・マニフェストの目標値が複数ある項目は、そのすべてを達成又は達成見込みとなった時点で◎ないしは○を記載

| マニフェストの政策項目 | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況 及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|-----------------------------|---|----|--|--------------------------|
| I 子どもの笑顔があふれる街 | | | | |
| 1 保育所定員を4,000人分拡大します | 14年度までに保育所定員4,000人増 (19,000人→23,000人) | | 【12年度末までの状況】 保育所の新築・増改築等による定員増の状況 (11年度)1,190人増 (12年度)1,158人増 事業所内保育施設の設置に対する補助制度を創設(11年9月～) 私立幼稚園における預かり保育の運営費補助制度を創設(12年10月～) 認可外保育施設の運営支援を開始(12年10月～) 【13年度の主な動き】 保育所の新築・増改築等による定員増の状況 (13年度)1,210人増予定 | 子ども育成部 子育て支援部 |
| 2 保育ママ制度を本格実施します | 14年度までに保育ママ40人に拡大 (6人→40人) | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 保育ママの拡大の状況 (11年度)6人→11人(居宅型9人、グループ型1組2人) (12年度)11人→21人(居宅型13人、グループ型4組8人) (13年度)21人→32人予定(居宅型20人、グループ型6組12人) | 子育て支援部 |
| 3 すべての小学校区に放課後の居場所をつくります | 14年度までに全小学校区に整備 (159校区→202校区) | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 ミニ児童会館・放課後子ども館を整備 (11年度)ミニ児童会館3館、放課後子ども館2館 (公的な放課後の居場所の未整備校区33校区) (12年度)ミニ児童会館9館 (公的な放課後の居場所の未整備校区24校区) (13年度)ミニ児童会館7館予定、放課後子ども館2館予定 (公的な放課後の居場所の未整備校区15校区) | 子ども育成部 |
| 4 児童クラブの対象学年を6年生まで拡大します | 14年度までに6年生まで拡大 12年度から時間延長 | ○ | 【12年度末までの状況】 児童クラブ及び民間児童育成会の対象を小学5年生まで拡大(12年4月～) 児童クラブの開設時間を延長(12年4月～) 【13年度の主な動き】 児童クラブ及び民間児童育成会の対象を小学6年生まで拡大 | 子ども育成部 |
| 5 すべての中学校区に常設の子育てサロンをつくります | 14年度までにちあふるの全区整備に着手 (6か所→10か所) 14年度までに常設サロンを全中学校区に設置 (11か所→98か所) | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 区保育・子育て支援センター(ちあふる)設置箇所数 (11年度)6か所 (12年度)7か所(12年4月北区開設) (13年度)7か所 ※13年度から南区について整備着手 常設サロン設置箇所数 (11年度)31か所 (12年度)32か所 (13年度)63か所予定 ※11年3月末の東米里中学校の閉校に伴い中学校区数は97か所となっている | 子育て支援部 |
| 6 仕事と生活・子育ての両立に取り組む企業を支援します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が産業振興資金の融資を受けた際に、利子相当額の一部を助成(11年10月～) | 子ども育成部 |
| 7 子育て世帯向けの市営住宅を新たに整備します | 14年度までに一部入居開始 | | 【12年度末までの状況】 1号棟の実施設計・地質調査を実施、建築用地を取得 【13年度の主な動き】 1号棟の建設工事に着手、2号棟の実施設計・地質調査を実施 | 市街地整備部 |
| 8 子ども医療費の助成を中学生まで拡大します | 12年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 中学生の入院及び指定訪問看護に係る医療費の一部を助成(12年4月～) | 保険医療部 |
| 9 きれめない母子保健サービスを提供します | 11年度にシステム構築 13年度までに5歳児健診を開始 | | 【12年度末までの状況】 母子保健情報システムを構築・運用(12年10月～) 5歳児健康相談等に関する調査を実施 【13年度の主な動き】 5歳児健康相談等の導入に向けた実施方法等を検討 | 保)総務部 保健所 |
| 10 中高一貫教育校を開校します | 15年4月に開校 | | 【12年度末までの状況】 中高一貫教育校の新校舎建設に係る基本・実施設計を実施 【13年度の主な動き】 新校舎の建設工事に着手 教育内容等について市民説明会を実施 | 学校教育部 |
| 11 子どもの社会参加を進めます | 11年度からプレーパーク事業を開始 13年度までに農園整備 | ○ | 【12年度末までの状況】 子どもまちセンター日所長体験事業を実施 プレーパーク事業実施団体に対する活動費助成を開始(11年8月～) 児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動発表の場となるイベントを実施(13年2月予定) 子ども学習農園の調査・実施設計を実施 【13年度の主な動き】 子ども学習農園を整備 | 市民自治推進室 子ども育成部 農政部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|----|--|-------------------------|
| 12 | 児童相談所の体制を強化します | 11年度にホットライン設置 14年度までに環境整備 | | 【12年度末までの状況】 子ども安心ホットラインを設置(11年9月～) 一時保護所の環境整備に向けた基本計画を策定 【13年度の主な動き】 一時保護所の環境整備に向けた基本・実施設計を実施 | 児童福祉総合センター |
| 13 | 各区役所に子どもと家庭の相談窓口を設置します | 11年度に窓口を設置 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 各区役所に家庭児童相談室を設置(11年4月～) 児童相談所など関係機関との連携を強化 | 児童福祉総合センター |
| 14 | 施設に入所している子どもの学習と就活を支援します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 スタディメイト派遣事業を実施(11年12月～) 就労支援コーディネーター派遣事業を実施(11～12年度は北海道の委託事業と連携) | 児童福祉総合センター |
| 15 | 不登校の子ども一人ひとりの状況に応じた支援を行います | 14年度までに心のサポーターを全中学校に配置 12年度から支援開始 | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 心のサポーターを配置・拡充 (12年度)小学校2校、中学校20校 (13年度)小学校5校、中学校40校 スクールカウンセラーの小学校への配置時間を拡充 (11年度)36時間/年→45時間/年 (12年度)45時間/年→48時間/年 (13年度)48時間/年→51時間/年 スクールソーシャルワーカーを増員 (11年度)3人体制→5人体制 (12年度)5人体制→6人体制 (13年度)6人体制→7人体制 フリースクールなどの民間施設への財政的支援を実施(12年5月～) 教育支援センターを1か所設置(13年度) | 子ども育成部 学校教育部 |
| 16 | ひきこもりやニートの若者の社会的自立を支援します | 11年度から事業実施 14年度までに施設整備 | ○ | 【12年度末までの状況】 中学校卒業等進路支援事業及び社会体験機会創出事業を実施(11年度～) 若者支援総合センターの移転整備 【13年度の主な動き】 新たな若者支援総合センターの供用を開始 | 子ども育成部 |
| II 安心して暮らせるぬくもりの街 | | | | | |
| 1 | 特別養護老人ホームの定員を1,000人分拡大します | 14年度までに入所定員1,000人増 (4,300人→5,300人) | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 (11年度)広域型3施設、地域密着型2施設を整備(定員298人増) (12年度)広域型3施設を整備(定員240人増) (13年度)広域型3施設を整備(定員240人増) | 高齢保健福祉部 |
| 2 | 高齢者の安心な住まいづくりを進めます | 12年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 北海道あんしん賃貸住宅制度の登録を条件に民間賃貸住宅へのエコリフォーム補助を開始(11年5月～) | 市街地整備部 |
| 3 | 地域包括支援センターを増設します | 13年度までに6か所増 (21か所→27か所) | ○ | 【12年度末までの状況】 地域包括支援センターの増設に向けた検討及び委託先の決定 【13年度の主な動き】 地域包括支援センターを6か所増設(13年4月～) | 高齢保健福祉部 |
| 4 | 高齢者の健康づくり活動を支援します | 12年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 さっぽろ地域スポーツにぎわい促進委員会を設立 地域の自主グループやサロンに健康づくりサポーターを派遣 地域スポーツ活動のニーズ調査及び支援事業を実施 | 保健所スポーツ部 |
| 5 | 高齢者の安心を支える新たな地域福祉の仕組みをつくります | 12年度から段階的に実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 地域福祉社会計画を策定(12年3月) シニアサロンモデル事業及び孤立死防止・地域連携ネットワーク事業を実施 【13年度の主な動き】 さっぽろ医療計画を策定(12年3月) 地域においてよりきめ細かな見守り活動等の強化策を数地区で先行実施 保健師による地域保健活動を充実 地域と結びつけた医療の強化に向けて医療と介護などの連携を推進 | 保)総務部 高齢保健福祉部 保健所 |
| 6 | 障がい者の働く場を増やします | 14年度までに10か所増 (10か所→20か所) | | 【12年度末までの状況】 障がい者協働事業実施事業所の状況 (11年度)1か所増 (12年度)1か所増 障がい者元氣スキルアップ事業を実施 就業・生活相談支援事業所の拡充等を実施 (11年度)1か所増、ジョブサポーターを1人配置 (12年度)1か所増、ジョブサポーターを1人増員 【13年度の主な動き】 障がい者協働事業実施事業所を3か所増(12か所→15か所) ジョブサポーターを1人増員 | 障がい保健福祉部 |
| 7 | 障がい児・障がい者に対する支援体制を強化します | 13年度までに開設 | | 【12年度末までの状況】 静療院跡施設の基本・実施設計を実施し、改修工事に着手 【13年度の主な動き】 新築・増築工事を実施・竣工 | 障がい保健福祉部 |
| 8 | 障がい者の相談支援事業所を増やします | 14年度までに4か所増 (16か所→20か所) | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 障がい者相談支援事業所 (11年度)1か所増 (12年度)1か所増 (13年度)1か所増 | 障がい保健福祉部 |
| 9 | 健康診査の費用を助成します | 12年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 心電図検査など特定健診を補う付加健診を実施(11年10月～) | 保険医療部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|---------------------|------------------------|--------------------------------|----|---|---------------------|
| 10 | 救急医療の電話相談を開設します | 13年度までに開設 | ○ | 【12年度末までの状況】 先行事例等の調査研究、業務システムの開発及び施設・設備の実施設計を実施 【13年度の主な動き】 施設・設備工事を実施、救急安心センターさっぽろを開設 | 保健所 |
| 11 | 精神科の救急医療体制を整備します | 14年度までに整備 | | 【12年度末までの状況】 関係機関との協議・調整 【13年度の主な動き】 精神科救急患者用の空床確保数を増加(1床/日→2床/日) | 障がい保健福祉部 |
| 12 | 食の安全条例を制定します | 12年度までに制定 | | 【12年度末までの状況】 パブリックコメントの実施及び13年第1回定例会に条例案を提案予定 | 保健所 |
| 13 | 5万人の雇用を創出します | 14年度までに5万人雇用創出 | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 第3次札幌新まちづくり計画事業などの実施による雇用創出効果の状況 (11年度)13,976人 (12年度)12,300人程度<12年11月末現在> (13年度)16,000人程度 | 雇用推進部 |
| 14 | 就職に有利な資格の取得を支援します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 Skipさっぽろ(札幌市職業能力開発サポートセンター)を開設(11年9月～) | 雇用推進部 |
| 15 | 若者の就業を支援します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 企業向け若年層雇用安定助成金制度の創設(11年8月～) 疑似体験プログラムの実施 (11年度)10クラス381人 (12年度)12クラス435人 | 雇用推進部 |
| 16 | 母子家庭の母親の就業を支援します | 12年度から対象を拡大 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 准看護師や歯科衛生士など11資格を給付対象に拡大(11年8月～) | 子育て支援部 |
| 17 | 生活保護受給者の就業支援を強化します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 就労支援相談員を増員(11年度)10人→20人 (12年度)20人→25人 NPOと連携した就労カウンセリングを本格実施 就労体験ボランティア体験事業を実施 (11年度)1区実施 (12年度)3区実施 【13年度の主な動き】 就労体験ボランティア体験事業を7区に拡大 | 保)総務部 |
| 18 | 公契約条例を制定します | 11年度に制定 | | 【12年度末までの状況】 12年第1回定例会に条例案を提案し継続審査中 関係業界との意見交換・協議、モデル事業の実施・検証 | 管財部 |
| Ⅲ 活きみなぎる元気な街 | | | | | |
| 1 | 道産食品の付加価値を高める産業を振興します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 道内の1次産業者と市内の2次・3次産業者が連携して取り組む新商品開発に対する補助制度を創設(11年7月～) 北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区の指定(11年12月)及び関連事業の推進 | 産業振興部 |
| 2 | 札幌の魅力を活かして観光客誘致を強化します | 14年度までに外国人宿泊者100万人(50万人→100万人) | | 【12年度末までの状況】 国際観光誘致事業及びシティ・リゾートウェディング推進事業を実施 11年度外国人宿泊者数429,240人 12年度上期外国人宿泊者数272,105人 ICTを活用した札幌まちめぐり事業を実施 魅力都市さっぽろシティプロモート戦略を策定(12年1月) 【13年度の主な動き】 タイからの誘客を促進するためのプロモーションを実施 | 政策企画部 観光コンベンション部 |
| 3 | MICEの誘致に取り組めます | 14年度までに国際会議を年100件開催(81件→100件) | | 【12年度末までの状況】 コンベンションをはじめとしたMICE誘致や開催資金の一部助成 国際会議開催件数の状況 (10年度)86件 (11年度)76件 【13年度の主な動き】 新たな魅力の創造と企業の報奨旅行への助成など誘致の強化を実施 | 観光コンベンション部 |
| 4 | 健康・福祉産業の創出に取り組みます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 医療・介護・看護・福祉分野において市内事業者と共同研究を行う大学等の研究者に対する補助制度を創設(11年7月～) 新たな健康サービスの創出を支援する補助制度を創設(11年7月～) | 産業振興部 |
| 5 | アジア圏との経済交流を進めます | 14年度までに食品製造業の輸出額を倍増(9億円→18億円) | | 【12年度末までの状況】 アジア圏での新規物産展などの実施 積雪寒冷地技術の海外進出の可能性について調査・検討を実施 ※輸出額については13年2～3月にアンケート調査を実施予定 【13年度の主な動き】 新規物産展などの更なる拡充 市内食関連企業の海外展開を促進するため、輸出向け食品開発の支援を実施 | 産業振興部 |
| 6 | 新たな融資制度「札幌みらい資金」を創設します | 14年度までに新規融資枠500億円 | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌みらい資金を創設(11年4月～) 融資限度額2億円 (11年度)新規融資枠100億円 実績:131件 29.0億円 (12年度)新規融資枠150億円 実績:166件 43.5億円<12年10月末現在> (13年度)新規融資枠150億円 利率の引き下げ、手続きの簡素化を実施(12年度) | 産業振興部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|-------------|---------------------------------|----------------------|----|---|--|
| 7 | 地元のIT企業の受注機会を拡大します | 12年度から順次稼働 | ◎ | 【12年度末までの状況】 住民記録系システムの稼働(12年7月～) 【13年度の主な動き】 税、国保、介護、福祉等の基幹システムの再構築を推進 | 情報化推進部 |
| 8 | 商店街の再生に取り組みます | 11年度から開始 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 商店街の商業機能の再生に向けて取り組む事業に対する補助制度を創設(11年4月～) | 産業振興部 |
| 9 | 市有施設の耐震化や長寿命化で地元の建設業の受注機会を拡大します | 11年度に計画策定 | ◎ | 【耐震補強事業】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 [市有建築物] 第3次新まちづくり計画のなかで耐震化の実施を整理(11年度) 第3次新まちづくり計画に基づき耐震化を実施 (11年度)65施設的设计・工事を実施 (12年度)90施設的设计・工事を実施 (13年度)12年度までの着手施設の継続事業のほか、28施設的设计に着手予定 [その他] 水道・下水道施設及び地下鉄施設の耐震化を実施 【保全推進事業】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 第3次新まちづくり計画のなかで保全の実施を整理(11年度) 保全計画等に基づき保全推進事業を推進 (11年度)72施設 (12年度)121施設 (13年度)99施設予定 | 建築部 生涯学習部 下水道河川部 高速電車部 給水部 |
| 10 | 都心の再整備を進めます | 13年度までに大 通交流拠点を整備 | | 【大通交流拠点】 【12年度末までの状況】 地下鉄駅及び新規拡張部(土木工事部分)の実施設計を実施 【13年度の主な動き】 地下鉄駅及び新規拡張部の土木工事に着手、新規拡張部(建築工事部分)の実施設計を実施 【札幌駅交流拠点】 【12年度末までの状況】 再整備構想案策定委員会から再整備構想案の提言(12年4月) 【13年度の主な動き】 構想案の具体化に向けた関係機関等との協議及び具体的な事業化に向けた検討 【南一条地区】 【12年度末までの状況】 地域関係者等と事業化判断に向けた検討 【13年度の主な動き】 事業化判断に向けた検討の取りまとめ 【創成川以東地区】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 創成川以東地区まちづくり会議においてまちづくり計画案の検討を行い、提言として取りまとめ まちづくり計画に基づき事業を推進 | 都心まちづくり推進室 |
| 11 | 苗穂駅周辺地区のまちづくりを進めます | 14年度までに着工 | | 【12年度末までの状況】 公共施設の都市計画決定(12年4月) 公共施設整備・駅舎移転に係る基本設計及び調査測量を実施 北3東11周辺地区の再開発推進計画を策定、再開発準備組合による事業計画の作成などの支援 【13年度の主な動き】 公共施設整備に係る実施設計及び確定測量、駅舎移転に係る実施設計及び工事を実施 北3東11周辺地区の再開発準備組合による事業計画の作成などの支援 | 都市計画部 市街地整備部 |
| 12 | 民間再開発事業を支援します | — | | 【北1西1地区】 【12年度末までの状況】 再開発準備組合による事業計画案の検討 【13年度の主な動き】 再開発準備組合による基本設計などに対する支援、都市計画決定 【北8西1地区】 【12年度末までの状況】 再開発推進計画を策定、再開発準備組合による事業計画の作成などの支援 【13年度の主な動き】 再開発準備組合による都市計画手続きや基本設計などの支援 【南2西3南地区】 【12年度末までの状況】 再開発準備組合の設立 【13年度の主な動き】 再開発準備組合による都市計画手続きや設計などの支援 【土地利用制限の緩和】 【12年度末までの状況】 土地利用計画制度の運用方針を改正し、状況に応じて都心部の容積率や高さ制限を緩和する旨を記載(11年9月) | 都市計画部 都心まちづくり推進室 市街地整備部 |
| 13 | 総合的な交通計画を策定します | 11年度に計画策定 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌市総合交通計画を策定(12年1月) 総合交通計画に基づき、路面電車のループ化や都心アクセス強化道路軸の検討、丘珠空港の利用促進等を推進 | 総合交通計画部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況 及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|------------------------|----------------------------------|--|----|--|---------------------------------------|
| 14 | 路面電車を延伸します | 14年度までに ループ化を実現 | | 【12年度末までの状況】 路面電車活用計画を策定(12年4月)、ループ化工事の実施設計を実施 新型低床車両を製造(1両) 【13年度の主な動き】 ループ化関連工事(支障物件の移設等)に着手 3地域(都心・桑園・創成川以東)への延伸に係る検討 新型低床車両を運行、新型低床車両を製造(2両) | 総合交通 計画部 高速電車 部 |
| 15 | 北海道新幹線の札幌延伸に積極的に取り組みます | — | ◎ | 【12年度末までの状況】 札幌延伸に係る工事实施計画が認可(12年6月) 【13年度の主な動き】 早期の札幌開業に向けた要請活動、整備効果拡大に向けた市民啓発を実施 | 総合交通 計画部 |
| 16 | 都心へのアクセス道路の強化に取り組みます | — | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 豊平川通の南伸及び北伸に係る検討・関係機関との協議、創成川通の機能強化に係る関係機関との協議 | 総合交通 計画部 |
| 17 | ICカードでより便利なサービスを提供します | 13年度までにバス・市電の利用を開始 | ○ | 【バス・市電での利用】 【12年度末までの状況】 バス・市電での利用開始に向けた開発及び機器整備を実施(各交通事業者に対する導入経費の補助) 【13年度の主な動き】 バス・市電での利用を開始(13年6月予定、定期券サービスは14年2月予定) 【電子マネーなど】 【12年度末までの状況】 コンビニエンスストアなど約900店舗で利用可能 大通証明サービスコーナーや各区役所、市税事務所、円山動物園など19の行政窓口・施設で利用可能 【13年度の主な動き】 図書貸出券機能の付加に向けた電算システムの詳細設計・開発を実施 | 情報化推 進部 事業管理 部 中央図書 館 |
| 18 | 自転車の走行環境と駐輪場を整備します | 14年度までに官 民協働で都心に 5,000台分整備 | | 【12年度末までの状況】 自転車走行空間の整備及び都心部における実証実験を実施 駐輪場の整備を実施 (11年度)(都心部)159台分増(駅周辺)653台分増 (12年度)(都心部)399台分増(駅周辺)1,377台分増 ルール・マナーの普及啓発のため、ホームページ上に「(仮称)バーチャル自転車教室」の作成及び都心部における自転車押し歩きの社会実験を実施 【13年度の主な動き】 引き続き駐輪場の整備を実施 (都心部)公共駐輪場の検討を実施(駅周辺)602台分増 引き続きルール・マナーの向上のため、「(仮称)バーチャル自転車教室」を活用した交通安全教育や自転車押し歩きの社会実験など普及啓発を実施 | 地域振興 部 建)総務部 |
| IV みんなで行動する環境の街 | | | | | |
| 1 | 新たな温暖化対策推進計画を策定します | — | | 【12年度末までの状況】 実行計画策定に向けた検討 【13年度の主な動き】 今後示される予定の国の温暖化対策の動向と13年度に策定予定の札幌市のエネルギー基本計画を踏まえて、実行計画の策定に向けて着手 | 環境都市 推進部 |
| 2 | 次世代自動車の導入への助成を新たに行います | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車)導入に対する事業者向けの補助を実施(11年7月～) 市民向け(電気自動車のみ)にも補助を拡充(12年4月～) | 環境都市 推進部 |
| 3 | 新エネ・省エネ設備の導入への助成を拡充します | 12年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌・エネルギーecoプロジェクトを実施 町内会やNPO等に対する新エネ・省エネ機器導入費用補助を開始(12年5月～) | 環境都市 推進部 |
| 4 | 省エネ住宅への助成を新たに行います | 14年度までに制 度創設 | ◎ | 【12年度末までの状況】 札幌版次世代住宅基準を策定し、基準に適合する新築戸建住宅に対する補助を実施(12年4月～) 【13年度の主な動き】 モデル住宅向けの補助を実施 | 市街地整 備部 |
| 5 | 家庭におけるCO ₂ の見える化を進めます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 家庭の省エネ診断事業を実施(11年度～) 節電キャンペーンを実施(11年度～) 【13年度の主な動き】 家庭での節電を促進するため、モニター世帯に対する消費電力量の見える化機器の貸し出しを実施 | 環境都市 推進部 |
| 6 | 太陽光発電などの市有施設への導入を進めます | 14年度までに 100か所導入 (61か所→161 か所) | | 【太陽光発電設備】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 (11年度)厚別・手稲区役所、コンベンションセンター、学校など18か所に導入完了 (12年度)中央卸売市場センターヤード、カーリング場、学校など28か所に導入完了 (13年度)青少年科学館、学校など32か所に導入予定 【雪冷熱設備】 【12年度末までの状況】 円山動物園アジアゾーン高山館に雪冷熱設備を導入 | 環境都市 推進部 円山動物 園 生涯学習 部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|---------------------|----------------------|-------------------------------|----|--|-------------------|
| 7 | 生ごみの資源化を進めます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 南区内の大規模集合住宅を対象に生ごみ分別収集・資源化の実証実験を実施(11年11月～12年1月、12年7～9月) 【13年度の主な動き】 引き続き実証実験を実施 | 環境事業部 |
| 8 | 廃棄物の再利用・再資源化を進めます | 12年度までに稼働 | ◎ | 【12年度末までの状況】 資源リサイクル施設を整備 | 中央卸売市場 |
| 9 | 都心部の緑をボリュームアップします | 13年度から助成開始 | ○ | 【12年度末までの状況】 都心部や主要幹線における街路樹の緑のボリュームアップを推進 市民・企業による民有地緑化に対する支援・助成の新たな仕組みの制度設計 【13年度の主な動き】 都心の民有地緑化に対する新たな支援・助成を開始 | みどりの推進部 |
| 10 | 生物多様性の保全に向けて取り組みます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 生物多様性さっぽろビジョンを策定(13年3月) 市域の自然環境等の基礎調査及び市民・事業者への普及啓発 【13年度の主な動き】 ビジョンに基づく各種取組を実施 | 環境都市推進部 |
| 11 | 円山動物園をさらに魅力アップします | 14年度までに入園者100万人突破(90万人→100万人) | | 【12年度末までの状況】 アジアゾーンの完成(12年12月)、遊具広場の完成(13年3月)及びアフリカゾーンの施設設計を実施 ゾウ導入に関する検討・調査を実施 円山動物園基本計画を改訂(13年2月) 11年度の入園者数791,754人 12年4～12月の入園者数614,721人 【13年度の主な動き】 アフリカゾーンの建設工事に着手 ゾウ導入基本計画の策定に着手 | 円山動物園 |
| 12 | 環境にやさしく機動的な雪対策を進めます | 14年度までに「地域と創る冬みち事業」を全地区で実施 | | 【地域と創る冬みち事業】 【12年度末までの状況】 (11年度)273町内会で懇談会等を実施(実施率約44%) (12年度)約350町内会で懇談会等を実施(実施率約63%) 【13年度の主な動き】 約350町内会で懇談会等を実施(実施率約82%) 【除排雪体制の維持・安定化】 【12年度末までの状況】 夏と冬の業務の一体化による通年委託を10区23地区で試行実施(11年度) | 雪対策室 |
| V 人がきらめく文化の街 | | | | | |
| 1 | 市民交流複合施設の建設を進めます | 14年度までに着工 | | 【12年度末までの状況】 (仮称)市民交流複合施設整備基本計画の検討・策定 【13年度の主な動き】 整備基本計画に基づき施設計画の詳細検討を実施 運営方法・実施事業等を検討 | 都心まちづくり推進室 文化部 |
| 2 | ユネスコ創造都市ネットワークに加盟します | 12年度までに加盟 | ○ | 【12年度末までの状況】 創造都市さっぽろ実行委員会(12年7月に創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会へ改組)を設立し、メディアアーツ部門で加盟申請することを決定 メディアアーツ推進の事業部会として、実行委員会内に産学官連携組織である札幌メディアアーツラボを設置(12年7月) ネットワークへの加盟承認に向けた調整(ユネスコの財政状況悪化により新規申請受付が停止中) 【13年度の主な動き】 ネットワークへの加盟承認に向けた調整及び国際芸術祭イベントと連携したイベント等を実施 | 政策企画部 |
| 3 | 国際芸術展を開催します | 14年度までに開催 | | 【12年度末までの状況】 国際芸術展の開催に向けた基本構想を策定(12年6月) 実施主体となる「創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会」を設立(12年7月) 【13年度の主な動き】 国内外への認知度向上、機運醸成のため、イベント等を実施 旧天神山国際ハウスを改修し、滞在制作やワークショップの場を整備 | 文化部 |
| 4 | 地下空間を創造と芸術の場として活用します | 11年度から実施 | ◎ | 【駅前通地下歩行空間北2条広場】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 コンテンツ制作ワークショップ及び創造都市アワードを実施 賑わい創出に向けた映像と一体となったパフォーマンスの実施支援強化(12年4月～) 【500m美術館】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」を開設(11年11月～) 年4回程度の企画展を運営 | 政策企画部 文化部 |
| 5 | 演劇など舞台芸術を振興します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 会場費の補助などにより優れた演劇を鑑賞する機会を提供(12年4月～) | 文化部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|---------------------|--------------------------|-------------|----|---|---------|
| 6 | 世界の諸都市と活発な交流を進めます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌・大田姉妹都市提携記念事業として訪問団を派遣(11年10月) 姉妹・友好都市と札幌市の大学生による合宿形式のセミナーを実施(12年2月、13年2月) | 国際部 |
| 7 | 平和の尊さを次世代に継承します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 次世代に平和の尊さを継承するホームページ平和バーチャル資料館を作成 平和都市宣言20周年記念啓発イベントを実施(12年8月) 【13年度の主な動き】 平和バーチャル資料館を活用した普及啓発等を実施 | 地域振興部 |
| 8 | 豊平館を保存活用します | 12年度までに着工 | ◎ | 【12年度末までの状況】 豊平館保存活用基本計画を策定(11年8月) 保存修理工事等に着手、公開活用基本設計を実施(12年度) 【13年度の主な動き】 保存修理工事、公開活用実施設計を実施 | 文化部 |
| 9 | 次世代型の博物館計画を進めます | 14年度までに計画策定 | | 【12年度末までの状況】 検討委員会を設置し、次世代型博物館計画の策定に向けた調査・検討を実施 【13年度の主な動き】 引き続き検討委員会において、次世代型博物館計画の策定に向けた検討を実施 | 文化部 |
| 10 | さとらんどに遺跡公園を整備します | 14年度までに整備着手 | | 【12年度末までの状況】 公開シンポジウムを開催(12年3月) サッポロさとらんど内の代替圃場を整備 検討委員会を設置し、基本構想を検討 【13年度の主な動き】 検討委員会において基本構想を策定 遺跡範囲の測量及び遺跡内容等の確認調査を実施 | 文化部 |
| 11 | アイヌ施策を進めます | 13年度までに実施 | | 【12年度末までの状況】 モニュメントの設置検討会議を設置し、制作手法やコンセプト等を検討 駅前通地下歩行空間における情報発信 駅前通地下歩行空間等に民芸品展示販売スペースを試行的に設置 【13年度の主な動き】 モニュメントの具体的なコンセプト、デザイン、設置場所等の検討 民芸品展示販売スペースの試行設置を継続 | 市民生活部 |
| 12 | 中央体育館を総合体育館として改築します | 15年春までに開設 | | 【12年度末までの状況】 中央体育館建設基本構想(12年7月)、基本計画を策定 【13年度の主な動き】 基本設計や地質調査等を実施 | スポーツ部 |
| 13 | 通年型のカーリング場を建設します | 12年度までに開設 | ◎ | 【12年度末までの状況】 カーリング場の開設(12年9月～) | スポーツ部 |
| 14 | 冬の国際スポーツ大会の誘致を進めます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況】 アジア冬季大会の開催に向けた基本計画を策定(11年度) カーリング女子世界選手権大会の誘致活動を推進 【13年度の主な動き】 アジア冬季大会開催に向けた準備を推進 2015年カーリング女子世界選手権大会の誘致活動を推進 | スポーツ部 |
| 15 | プロスポーツによる産業振興を進めます | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌ならではのスポーツ資源を活用したビジネスモデルを公募し補助事業を実施(12年度～) 札幌型スポーツ産業創出検討委員会を設置し、スポーツ産業振興策を検討(12年度～) | 産業振興部 |
| VI 市民が創る自治の街 | | | | | |
| 1 | 新たな札幌の将来ビジョンを市民と一緒に創ります | 12年度までに策定 | | 【12年度末までの状況】 審議会を設置するとともに、市民会議やワールドカフェ、ワークショップといった各種市民参加事業を実施 審議会よりまちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)について答申(12年11月) パブリックコメントの実施及び13年第1回定例会にビジョン編を提案予定 【13年度の主な動き】 まちづくり戦略ビジョン(戦略編)を策定 | 政策企画部 |
| 2 | 区民協議会の運営を支援します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 区民協議会の開催支援や運営支援を実施 区民協議会の検討や取組を予算の執行に反映する仕組みの考え方を整理(11年度) 区民協議会の取組の予算への反映に向けた検討 | 市民自治推進室 |
| 3 | 市民と職員が一緒に学ぶまちづくり研修を開始します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 市民と共に学ぶまちづくり推進研修事業(ジョイまちゼミナール)を実施(11年度～) | 職員部 |
| 4 | 公文書館を整備します | 13年度までに開設 | ○ | 【12年度末までの状況】 公文書館整備計画を策定し基本・実施設計を実施 公文書館の開館に向けた旧豊水小学校複合施設の改修工事を実施 13年第1回定例会に公文書館条例案を提案予定 【13年度の主な動き】 公文書館を開設 | 行政部 |

| マニフェストの政策項目 | | マニフェストの目標値等 | 進捗 | 平成24年度(2012年度)末までの状況及び平成25年度(2013年度)の主な動き等 | 所管部 |
|-------------|------------------------|---|----|---|------------------|
| 5 | 市民に身近な窓口のサービスアップを進めます | 14年度までに10か所拡大 (5か所→15か所) 11年度から納付開始 | | 【住民票即日交付】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 まちづくりセンターにおける住民票即日交付の方向性を検討 国のマイナンバー制度の動向を踏まえた検討 【コンビニ納付】 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 市道民税及び固定資産税のコンビニ納付を開始(11年4月～) | 地域振興部 税政部 |
| 6 | 地区会館・市民集会施設の整備を進めます | 14年度までに40か所整備 | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 地区会館・市民集会施設の整備状況(累計) (11年度)9か所 (12年度)21か所 (13年度)35か所予定 ・まちづくりセンター・地区会館の改築 (11年度)2か所 (12年度)3か所 (13年度)3か所予定 ・市民集会施設建築費補助の拡大 (11年度)新築2か所 (12年度)新築2か所 (13年度)新築1か所予定 ・町内会活動拠点支援事業の新設(11年度～) (11年度)5か所 (12年度)7か所 (13年度)10か所予定 ・市民集会施設建築資金貸付を実施(11年度～、12年度から単独の市民集会施設にも拡充) (13年度)2か所予定 ・地区会館リフレッシュ整備事業の新設(12年度～) (12年度)5か所 (13年度)5か所予定 | 地域振興部 |
| 7 | 町内会・自治会の活動を支援します | 14年度までに加入率上昇 | | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 新規転入者や集合住宅入居者に対する普及啓発を実施 学生との協働により「地域i(アイ)動画」を制作し地域の紹介フィルムとして札幌市のPRに活用 加入率の状況<各年1月1日現在> (11年)72.46% (12年)71.73% | 市民自治推進室 |
| 8 | まちづくりセンターの機能をさらに強化します | 14年度までに自主運営化10か所増 (8か所→18か所) | | 【12年度末までの状況】 まちづくりセンター地域自主運営制度を周知 地域カルテ・マップの作成及び活用支援 地域の創意工夫で行うソフト事業とハード事業を結びつける地域活動の場整備支援事業を実施(12年度～) 【13年度の主な動き】 まちづくりセンター地域自主運営化を推進(新規3か所予定) | 市民自治推進室 |
| 9 | NPO活動への支援を総合的に進めます | 11年度に開設 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 札幌星園高校跡施設を市民活動プラザ星園として整備(11年8月) 駅前通地下歩行空間に市民まちづくり活動の情報コーナーを設置(11年4月) | 市民自治推進室 |
| 10 | まちづくりパートナー企業との連携を広げます | 14年度までに締結企業数10社増 (6社→16社) | | 【12年度末までの状況】 3社とまちづくりパートナー協定を締結(全9社と締結<13年1月現在>) 【13年度の主な動き】 協定のPRを実施し協定先を新規開拓 | 市民自治推進室 |
| 11 | ソーシャルビジネスを推進します | 11年度から実施 | ◎ | 【12年度末までの状況及び13年度の主な動き】 継続的な社会的課題の解決を目指すモデル事業を実施(11年度) 女性を対象としたソーシャルビジネスの養成講座を実施(11年度～) 大学と連携したソーシャルビジネスセミナーを実施(12年度～) ソーシャルビジネスの成長を促進するネットワークの構築等、自発的發展に寄与する事業を実施 | 市民自治推進室 産業振興部 |
| 12 | ICカードによる地域ポイント制度をつくります | 12年度から実用化 | ○ | 【12年度末までの状況】 ICカードによる地域ポイントモデル事業を実施(11年10月～13年3月) 【13年度の主な動き】 町内会・NPO等と連携したポイントメニューの拡大及び対象エリアの全市への拡大、交換メニューの充実 | 政策企画部 |

≪問い合わせ先≫
 市長政策室 政策企画部 政策調整課 TEL211-2206